

PHP新書「地震予報」読者の皆様へ No.1778長期継続大型地震推定前兆 原稿校了後の前兆変化についての続報

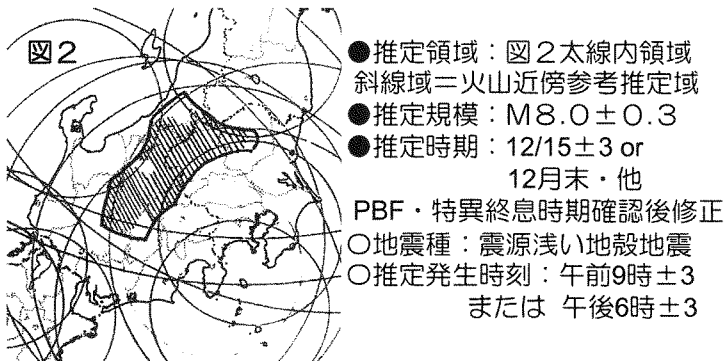
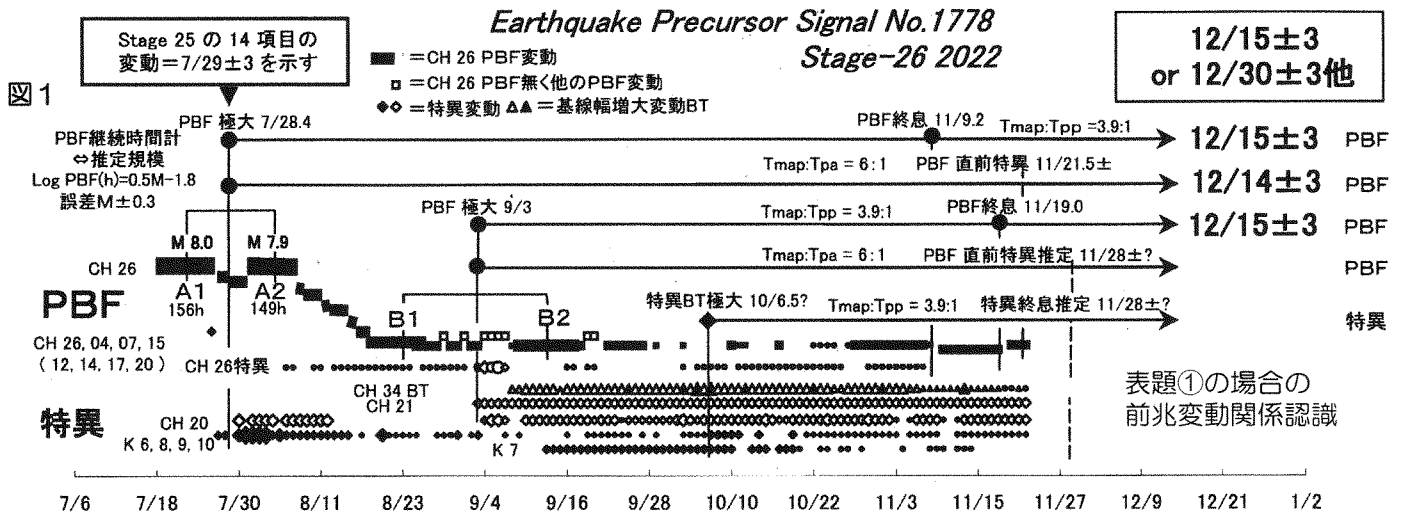
続報 No.344
2022.11/22 (火曜) 15:00 発表

八ヶ岳南麓天文台 串田 〒409-1502 山梨県北杜市大泉町谷戸8697-1 研究室 電話 0551-38-3987 FAX 0551-38-4254

※PHP新書「地震予報」にNo.1778前兆について記したため続報公開。No.1778前兆は27年の観測歴上最長継続の最大に難解な変動。しかし首都圏直下・南海トラフ等大型地震は前兆検知から発生までは数日の可能性が高い。火山噴火も検知可能。これらのNo.1778前兆以外の他の地震前兆については本HPでは公開できません。E-mailまたはFAXで配信の観測情報でのみ公開しています。本観測をご支援下さる方に前兆変動の有無や発生推定内容等の観測情報を配信しています。観測情報配信の「公開実験」に是非ご参加下さい。

12/12 以前に発生の可能性は否定 前兆変動出現形態再考 以下の可能性を検討中

- ① PBF 数日で終息し、11/28±極大で再出現・特異11/28±終息の場合 → 12/15±3 発生
- ② PBF 11/30まで継続し終息・特異継続し12/9±終息の場合 → 12/30±3 発生
- ③ 他



前情報で継続していたPBFが11/9.2に終息したことを報告致しました。11/9.2に終息したPBFは約10時間静穏後再出現し途切れなく継続し、11/19.0に終息。その後10数時間静穏後再出現しています。前情報までは、特異やBTの初現を重視しましたが、その場合での特異終息時期である本日11/22に全く終息しないことから、12/2 ±3 以前発生の可能性は否定されます。さらに12/12以前発生の可能性も否定されます。

前述の11/9.2 PBF終息を7/28.4PBF極大に対する終息。11/19.0 PBF終息を9/3PBF極大に対する終息と仮定しますと、どちらも12/15±3 発生の可能性を示します。

11/19.0終息後再出現したPBFはそれ以前の波形周期と異なり、11/21.5中心にCH07にもPBFが同期しています。これを7/28.4極大に対する直前特異の可能性と考えました。この場合は12/14±3 発生の可能性が示唆され、前述時期と合います。この認識が仮に正しい場合は、表題①のとおり、現在のPBFは数日以内に一度終息し、11/28±3 時期に極大を持つPBFが再出現。特異は同時期11/28±3 に終息する可能性が計算できます。

しかし、継続出現していたPBFが各々10時間±静穏化した時点を2つの極大に対する終息とするのは誤認識である可能性も否めません。従って表題①の変化が認められない場合は、12月末等12/15以降発生の可能性が計算されますため、実際に観測し再考して続報予定です。上記以外の可能性が示唆された場合も続報させていただきます。

※推定内容根拠はNo337を参照下さい